

ICTを活用した授業力向上研修の開発と実践

調査の概要

◆課題認識

- ・「教育公務員特別法第24条の改正」による研修対象者の増加・ICT活用で研修効果担保と負荷軽減の必要性
 - ・「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画」をふまえたICTツール利活用促進の必要性
 - ・自発的な研修機会の必要性（時間や場所に限定されずいつでもどこでも学びたい内容が学べる環境の整備）
- 奈良市のクラウド環境（なら学びの広場）を活用し、奈良市と協働して調査研究を実施

ICTを活用した中堅教諭等資質向上研修
実践と効果検証

前年度事業で開発した研修プログラムを奈良市で実践し、効果検証を通して、プログラムの汎用化を目指した。

◆調査研究の方法

- * 受講レポート・実験レポート * 授業観察評価
- * 受講者・校長向けアンケート

クラウド内コンテンツ
活用促進のための手引きの開発

当社のノウハウを活かして教員のニーズが高いコンテンツを制作し、教員の教材研究の充実や授業運営力の向上に役立てることを目指した。

◆調査研究の方法

- * パイロット版の制作 * アンケート調査によるニーズと課題の分析
- * ブラッシュアップ・新規制作

取組のポイント・成果

◆取組のポイント

- ・人数や時間に制限がある集合型研修を、ICTの活用により、希望者全員が自分の都合に合わせた時間や場所で受講できるようにした。
- ・前年度事業で開発した研修プログラムの実践・検証を行った。

◆成果

- ・受講人数の制限なく個々の都合に応じ、学校現場を離れることなく研修の実施ができた
- ・ICT活用（動画）による①知識の習得、②校内での予備実験、③授業への活用考察を組み合わせ、対面研修に近い学びが確認できた。
- ・受講者の選定や、プログラム改善の必要性など、実践検証を通して改善すべき課題が明らかになった。

◆取組のポイント

- ・ニーズの高いコンテンツ制作を行い、利活用の促進につなげた。
- ・アンケート調査により現場の声を確認した上でコンテンツのブラッシュアップや新規制作を行った。

◆成果

- ・当社のノウハウをベースに、奈良市教員のニーズを集約、可視化し、ニーズの高いコンテンツが制作できた。
- ・ニーズの高いコンテンツは、クラウド環境の利活用推進に大きく貢献することを実証した（アクセス数が昨年同時期比144%増まで増加した）。

今後の課題

◆教員の資質能力向上に向けたクラウド環境の活用促進

本年度の事業総括をふまえたプログラムの改善（対象者の選定／研修前後での管理職による授業観察の実施等）により有用性を高め、全国的な課題解決に資する研修につなげる。

今後クラウドの活用を高めるために、教員一人一人がもつノウハウや授業の工夫をクラウドに集約する。仕組を整え、共有する仕掛け（教員ニーズの把握／品質担保／コンテンツ制作・活用方法の周知）を行う。